

# 令和5年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

## 1 児童の状況及び実態

<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は、内容を理解しながら聞くことに課題がある。</li> <li>・「読むこと」は、叙述を基に文章の構造や展開を捉え、内容を理解することに課題がある。</li> <li>・「書くこと」は、表現するための必要な語句を身に付け、適切に文章を書くことが課題である。</li> <li>・配当漢字は、定着している児童とそうではない児童の二極化が見られる。</li> </ul>
<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号について理解している児童が多い。</li> <li>・まちたんけんに行ったことにより、地域社会について意欲的に調べることができた。</li> <li>・地図を読み取る上で、必要な情報を集めて活用できない児童がいる。</li> <li>・社会に見られる課題を把握し、いろいろな資料を比べて考えることに課題が見られる。</li> <li>・資料の読み取りが苦手で、粘り強く取り組むことが困難な児童がいる。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<b>国語</b>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文型、語彙、漢字等の基礎・基本の理解と定着。</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現するために必要な語句を身に付け、適切に表現する力。</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな課題に対しても、最後まで粘り強く取り組む姿勢。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語、述語の意味や関係についての指導を適宜行うとともに、授業の中で積極的に辞典を活用したり、反復練習により漢字を定着させたりするなど、基礎・基本を大切にしていく。</li> <li>・積極的に文を書いて表現する場を設ける。模範となる表現や言葉を例示し適切に文章を表現できるようにする。</li> <li>・児童の初発の感想を大切にし、そこから分析できる児童の興味・関心・疑問等を基にした学習課題を設定することで、児童の「主体的に学ぶ姿」を育てていく。</li> </ul>
<b>社会</b>	<p><b>○知識及び技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を調べまとめる。</li> <li>・資料の読み取り方を理解する。</li> </ul> <p><b>○思考力・判断力・表現力等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する</li> <li>・資料から必要な情報を読み取る力を養う。</li> </ul> <p><b>○学びに向かう力、人間性等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や地域の平面地図や立体地図、グラフ、写真、関係者の言葉などの具体的資料を活用して授業を進める。</li> <li>・地域や自分自身の安全に関して、地域や生活における課題を見だし、それらの解決のために自分たちにできることを選択・判断する時間、体験的活動を単元の中に取り入れる。</li> <li>・地図やクラブなどの資料を焦点化して提示しから分かることを確認する。</li> <li>・社会科見学や店の人にインタビューしたりすることを通して、社会的事象について意欲的に調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味について調べたことや考えたことを表現し、実生活に結び付けることができるようにする。</li> </ul>

